

6/24 よりよい村にしていけるために 「村長と語るむらづくり」座談会



2時間以上にわたり多くの意見が交わされた座談会

「村長と語るむらづくり」と題した座談会が、役場大会議室で行われました。

当日は約70人の村民が参加し、吉良村長と活発に意見交換。議題は村民生活に関する身近な課題をはじめとし、農業、観光、子育てや教育、地域振興に関する事など、さまざまな分野に関して意見や提案が出されました。

閉会のあいさつで吉良村長が「いただいた意見の中にはすぐに取り組みめるものも、課題もあった。継続的に皆さんの意見を聞いていきたい」と述べました。

「村長と語るむらづくり」座談会は、今後も定期的に実施していく予定です。

6/19 関係機関とのさらなる連携強化を NPO法人「南阿蘇えほんのくに」設立総会



当日は団体役員をはじめ、村関係者などが出席

NPO法人「南阿蘇えほんのくに」設立総会が、役場大会議室で行われました。

この団体は、絵本を通じて豊かな心を育むことを目的として地元住民が集まり、平成17年から活動を開始。絵本作家を招いての講演会や、地域での絵本の読み聞かせ会、絵本文庫の設置のほか、地震後には仮設団地の集会場で移動図書室を開くなど、様々な活動を続けてきています。

これらの取り組みを今後一層安定して着実に進めるため、今回NPO団体として組織を再編。関係機関や村との連携・協力体制をより強化していきます。

7/12 豪雨災害の教訓に 平成24年7月九州北部豪雨災害慰霊碑建立式



式では株式会社藤本建設工業（藤本憲成代表取締役）に対し、江藤区長から感謝状が手渡されました。

平成24年7月12日の九州北部豪雨災害で特に大きな被害を受け、2人が犠牲となった新所区で、慰霊碑建立式が行われました。地域住民約30人をはじめ村関係者などが参列し、犠牲者に追悼の意を寄せました。

建立式が行われた慰霊碑は、被災者への慰霊と地域を見守ってほしいとの思いで、株式会社藤本建設工業が寄贈。式典では新所区の江藤俊雄区長が「豪雨災害を教訓にし、防災意識を高めたい」と述べました。

7/2 犯罪のない幸福な社会づくり 第68回 社会を明るくする運動



阿蘇地区保護司会南部分会と南阿蘇村更生保護女性会

7月2日、役場にて第68回社会を明るくする運動総理大臣メッセージ伝達式が行われました。

社会を明るくする運動とは、すべての国民が、犯罪・非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪・非行のない明るい社会を築こうとする運動です。この活動は、昭和26年に始まり、今回で68回目を迎えます。

犯罪や非行のない「日本一安全・安心な明るい地域」になるよう、地域住民の理解を得て関係機関とも協力しながら地域に根ざした活動を目指します。